

両親の出生体重は 生まれた子どもの出生体重と関連するか？

Tomita *et al.* The impact of maternal and paternal birth weights on infant birth weights: the Japan environment and children's study. *J Dev Orig Health Dis.* 2023;14(6):699-710. doi: [10.1017/S2040174423000387](https://doi.org/10.1017/S2040174423000387)



【はじめに】

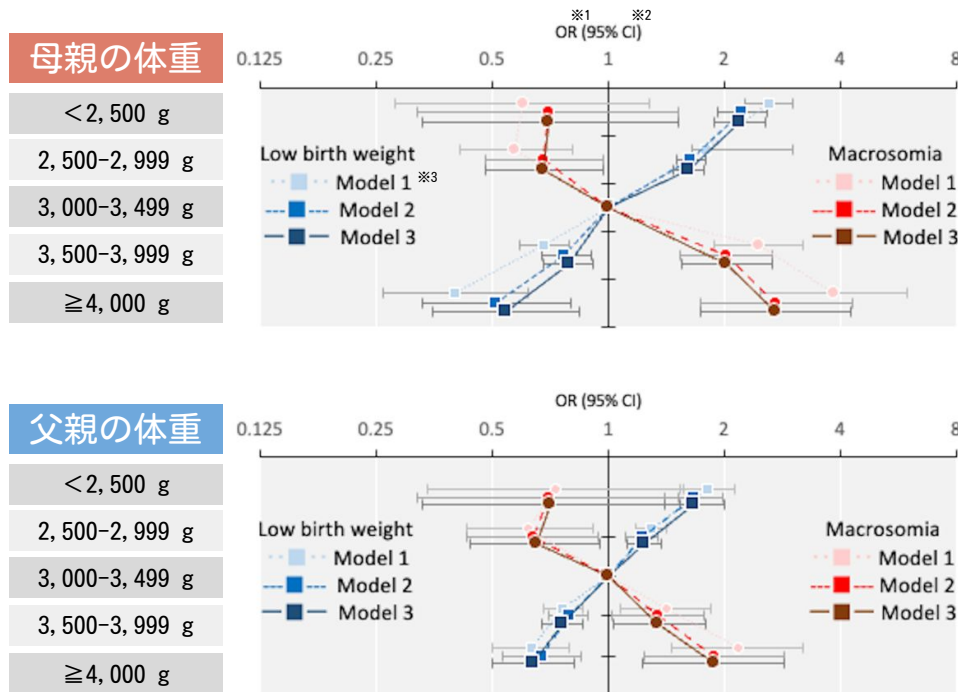
出生体重は、乳児期の発達や成人期での疾患発症リスクと関連することが明らかになっています。そのため、出生体重に関連する因子を特定することは、臨床的に重要な意味を持ちます。関連する因子の一つとして親の体重が報告されていますが、これまでの研究では乳児の出生体重に影響を与えるような親の要因が考慮されていません。そこで本研究では、親の要因を可能な限り考慮し、親の出生体重と乳児の出生体重との関連を調べることを目的としました。

【調査項目】

37,504人の妊婦とそのパートナーを解析対象としました。母親と父親の既往歴や生活習慣などの影響を考慮し、乳児の出生体重と母親または父親の出生体重との関連を統計学的に解析しました。乳児の正常出生体重を2,500g以上4,000g以下とし、2,500g未満を「低出生体重」、4,000g以上を「巨大児」と定義しました。

【結果】

親の出生体重と乳児の出生体重の関連性



※1 OR(オッズ比)：ある事象の起こりやすさを2つの群で比べたもので、数字が大きいほど事象が起こりやすいことを示します。この場合、事象は「低出生体重児または巨大児」を指します。

※2 95%CI：95%信頼区間(95% Confidence Interval)の略称で、母集団の平均値や効果の割合などが95%の確率で含まれると信じられる範囲を示すものです。信頼区間の幅が狭いほど、推定値の精度が高いとされます。

※3 Model1：粗い分析
Model2：親の年齢、身長体重、病歴などを考慮
Model3：Model2に加えて糖尿病の有無などを考慮

母親と父親の両方ともに、親の要因を考慮した場合でも、親の出生体重が低いほど乳児が低出生体重児になるオッズ比が高く、逆に親の出生体重が高いほど巨大児のオッズ比が高い結果となりました。また、父親に比べて、母親の出生体重が乳児の出生体重とより強い関連を示しました。

【この調査でわかったこと】

妊娠期間と胎児発育に影響を与える既知の要因の多くを考慮しても、両親の出生体重と乳児の出生体重の間に関連が認められました。両親の出生体重が乳児の出生体重にどのようなメカニズムで影響を与えるのかが、今後の研究課題とされます。